

那珂市議会産業建設常任委員会記録

開催日時 令和2年6月17日(水) 午前10時

開催場所 那珂市議会全員協議会室

出席委員 委員長 大和田和男 副委員長 小池 正夫

委員 石川 義光 委員 花島 進

委員 木野 広宣 委員 福田耕四郎

欠席委員 なし

職務のため出席した者の職氏名

議長 福田耕四郎 事務局長 渡邊 荘一

事務局次長 横山 明子 書記 小泉 隼

会議事件説明のため出席した者の職氏名(総括補佐職以上と発言者)

副市長 谷口 克文 財政課長 大内 正輝

財政課長補佐 浜名 哲士 産業部長 高橋 秀貴

農政課長 浅野 和好 農政課長補佐 綿引 勝也

商工観光課長 石井 宇史 商工観光課長補佐 秋山雄一郎

会議に付した事件

(1) 議案第42号 専決処分について(令和2年度那珂市一般会計補正予算(第1号))

…原案のとおり承認すべきもの

(2) 議案第47号 令和2年度那珂市一般会計補正予算(第2号)

…原案のとおり可決すべきもの

(3) 産業建設常任委員会調査事項について

…調査事項について協議

議事の経過(出席者の発言内容は以下のとおり)

開会(午前9時59分)

委員長 それでは定刻となりましたので、開会前に御連絡いたします。

新型コロナウイルス感染症対策のため、委員会出席者並びに傍聴される方につきましてはマスクの着用、また入り口付近に設置してあります消毒液において手指の消毒をお願いいたします。また、換気のため廊下側のドアを開放して常任委員会を行います。御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、またこのコロナ禍の中で執行部の皆様、市民の皆様に対する対応、本当にお疲れさまでございます。自粛っていうのも少しずつ解かれ、街も何か賑わいが少しずつですが、戻ってきたのかな。それでもまだまだ油断できないところなのかなと思っております。

また、先ほどもちょっとお話ししてたんですけども、今回、おとといですか、突風による停電があって、瓜連地区、また木崎地区辺りも被害がすごかったということで、被災さ

れた方にお見舞い申し上げる次第でございます。

それでは始めさせていただきたいと思えます。

会議は公開しており、傍聴可能といたします。また、会議の映像を庁舎内のテレビに放送します。会議内での発言は必ずマイクを使用し、質疑・答弁の際は簡潔かつ明瞭にお願いいたします。

携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りいただくかマナーモードにしてください。

ただいまの出席委員は6名であります。定足数に達しておりますので、これより産業建設常任委員会を開会いたします。

会議事件説明のため、副市長ほか関係職員の出席を求めています。職務のため、議長並びに議会事務局職員が出席しております。

ここで議長より御挨拶をお願いいたします。

議長 改めましておはようございます。

今、委員長からお話があったように新型コロナウイルスというようなことで、担当部署、職員の皆さん大変御苦労さまでございます。改めて敬意を表したいと思えます。

大分こう落ち着いてはきているようですが、まだまだ予断を許さない、そういう中での常任委員会ということで、委員の皆さんも大変御苦労さまでございます。

また、昨日ですか、副市長のほうから昨日の常任委員会でお話があったように瓜連地区で突風というようなことで、被災された方もいらっしゃるというようなことでございます。

最近の天候ですが、本当に梅雨に入ったと言いながらも本当に猛暑が続く、今日あたりは若干気温もしのぎやすいのかなと思えますけど、いずれにしてもちょっと異常な、そういうことが続いております。

新型コロナウイルスということも異常、天候も異常、そういう中で、本当に行政としてこの異常に対する対応ということが本当に目に見えて大変だなと。また、その対応等にも御配慮をいただき大変御苦労さまでございます。

今日は産業建設常任委員会ということで、ひとつ委員長、最終日には立派な報告ができますように、よろしく願いをいたします。

御苦労さまでございます。

委員長 ありがとうございます。

続いて、副市長より御挨拶のほうをお願いいたします。

副市長 改めまして、おはようございます。

本日は産業建設常任委員会の出席につきまして、大変お疲れさまでございます。

本日は議案が2件でございます。慎重なる御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

以上で簡単でございますが、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

委員長 ありがとうございます。

これより、早速議事に入りたいと思います。

本委員会の会議事件は別紙、会議次第のとおりであります。

初めに、議案第 42 号 専決処分について（令和 2 年度那珂市一般会計補正予算（第 1 号））を議題といたします。財政課より一括して説明をお願いいたします。

財政課長 財政課長の大内でございます。ほか関係職員が出席しております。どうぞよろしく
お願いいたします。

それでは議案書の 91 ページをお願いいたします。

議案第 42 号 専決処分について。

地方自治法第 179 条第 1 項の規定により、別紙のとおり専決処分したので、同条第 3
項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものです。

2 枚おめくり願います。

令和 2 年度那珂市一般会計補正予算（第 1 号）について御説明いたします。

12 ページをお願いいたします。

歳出になります。

款、項、目、補正額の順に御説明いたします。

5 款農林水産業費、1 項農業費、3 目農業振興費 1,074 万 9,000 円。

6 款商工費、1 項商工費、2 目商工振興費 2 億 275 万円。

以上でございます。よろしくをお願いいたします。

委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

福田委員 ちょっとお尋ねしたいのは、この農業振興費。これは、中身はどういうものに充て
るんですか。

農政課長 農政課長の浅野でございます。よろしくをお願いいたします。

こちらにつきましては、先日の全員協議会のほうでもお話ししたところでございますけども、
農業者の緊急応援事業ということで、国で言うと持続化給付金、こちらの持続化給
付金があるということでございますけども、こちらに漏れるような方、30%から 50%未
満の被害を受けたという方に対しての給付金というものを考えて補助として行うものでご
ざいます。

あと併せて、マルシェ事業を今までやっていたところなんですけど、こちらにつきましては
はドライブスルー方式で 3 密を避けての販売ということで実施するというので、その
補正予算を組んだところでございます。

以上でございます。

委員長 ほかにございませんか。

木野委員 今、ドライブスルーのを言っていましたけども、今度またありますよね。今のとこ
ろどれぐらいの応募が来ていますかね。

農政課長 今度で第3回になるところなんですけれども、現時点ではボックスを150箱用意する予定でございます。

現在の申し込みの状況でございますけれども、野菜の箱詰め、ボックスなんですけれども、こちらについては90箱ぐらいの予約が入っておるところでございます。

以上でございます。

委員長 ほかにございませんか。

(なし)

委員長 それではないので質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(なし)

委員長 ないので討論を終結いたします。

これより議案第42号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

委員長 異議なしと認め、議案第42号は原案のとおり承認すべきものと決定いたしました。

暫時休憩いたします。執行部は入替えをお願いします。

休憩(午前10時09分)

再開(午前10時09分)

委員長 それでは再開いたします。

議案第47号 令和2年度那珂市一般会計補正予算(第2号)を議題といたします。

財政課より一括して説明をお願いいたします。

財政課長 それでは議案書105ページの次のページをお願いいたします。

議案第47号 令和2年度那珂市一般会計補正予算(第2号)について御説明いたします。

7ページをお願いいたします。

歳出になります。

款、項、目、補正額の順に御説明いたします。

下段になります。

5款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費353万7,000円。

8ページをお願いいたします。

4目畜産業費17万2,000円。

以上でございます。よろしく御願いたします。

委員長 それでは、これより質疑に入ります。

質疑ございませんか。

石川委員 この畜産振興事業の17万円というのは、使い道っていうのは具体的にここに明記

されている手数料等のことですか。

農政課長 はい、そのとおりでございます。手数料となっております。

こちらにつきましては、豚に対するワクチンの接種に当たりまして、農家のほうから手数料をいただきまして、一度この手数料を市のほうで預かりまして、県のほうに納入するというところでございます。

以上でございます。

石川委員 豚の17万円って、これ何頭ぐらいになるわけですか。

農政課長 こちらは県のほうから那珂市の飼育の状況によりまして指示された頭数でございまして、今のところ535頭分ということで予算を取ってございます。

ちなみに、手数料1頭当たり320円でございます。

以上でございます。

委員長 ほかにございませんか。

福田委員 この産地パワーアップ事業、これは353万7,000円なんですけど、これは全て補助金なんですか、全額。

農政課長 はい、そのとおりでございます。

福田委員 補助対象になるものっていうのは、例えばどういうものが挙げられるのか。

農産物でしょうけども、特にこの産地というようなことがうたわれていますけど、どういう品種なんですかね。ちょっと確認したいんですが。

農政課長 こちらの事業につきましては、県の補助事業によるものでございます。

茨城県でカンショに昨年度より力を入れているということでございまして、カンショ生産量の向上と販売額の増を目指しまして、県全体で取り組む事業でございます。

こちらにつきましては、カンショの生産施設、機械の導入に対する補助でございまして、そういったカンショの重点事業ということで、補助金ということになってございます。

以上でございます。

福田委員 せっかくの補助金ですから、一部分じゃなくて、もうちょっと視野を広げて補助を出すようなそういう制度でもいいのかなと感じるんですが、その辺は担当部署としてはどういうふうな考えを持っていますか。

農政課長 こちらにつきましては茨城県のほうでカンショということで特に力を入れるということで、茨城県の中で那珂市ばかりではなくて、そのほかでサツマイモに力を入れている産地というところに、例えば隣のひたちなか市ですとか行方市とか、そういうところに重点を当てて、焦点を当てた事業でございます。

福田委員 ですからそれは分かりますよ。それは分かるんですよ。

だけどせっかくのこういう事業、いわゆる交付金があるわけですから、再度言うのは、いわゆる目玉ばかりじゃなくて、もうちょっと視野を広げた、そういう意味で言っているんですよ。

ぜひそういうことも視野に入れた検討をお願いしたいなと思います。

以上です。

委員長 お願いします。

ほかにありますか。

(なし)

委員長 ほかになければ、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

(なし)

委員長 討論を終結いたします。

これより議案第 47 号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

委員長 御異議なしと認め、議案第 47 号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、本委員会に付託された執行部提出案件の審議は全て終了いたしました。

暫時休憩いたします。

執行部はここで退席となります。お疲れさまでした。

休憩 (午前 10 時 15 分)

再開 (午前 10 時 16 分)

委員長 再開いたします。

続きまして、産業建設常任委員会の調査事項についてを議題といたします。

調査事項の検討を行う前に、これまでの調査事項の経過についてまとめた資料を配付しておりますので御確認ください。

これまでの経緯を踏まえましてこれから調査等を行いたい案件について、委員の皆様の御意見を伺いたいと思います。御意見ございますか。

この調査事項の中にも視察研修というのはあるんですけども、このコロナ禍の中で視察研修はまだ、今からどうこうっていう話にはできないと思うんですけども、あとは中身について、どういったことを……

花島委員 私は、下水道ないし排水処理について非常に関心があって産業建設常任委員をやってきたんです。

これにありますように、一度、平成 30 年に産業建設常任委員会で一定の結論を出して調査を終了して、提言を出して調査終了していますね。

けども、その後、要するにちゃんと見直しなり何なりが進むかどうかを引き続き見ていかなきゃならないと思っています。これが一つです。

もう一つは、下水道と全然関係なしに、産業振興という点で市内のいろんな事業者さんたちがインターネット経由でどういう販売をしているとか、そこにどういうふうに補助

できるかっていうのに関心があります。

実は私、いろいろなことをやっていて忙しいので、買い物に行く時間ってあまり取れないので、インターネットで買い物を結構しているんですよ。

そのときに感じるのは、サイトにあっても買いやすいところと買いにくいところがあるんです。それは何かと言うと、一番感じるのは細かいことがちゃんと書いてあるかどうかなんですよね。

例えば、部品だったら細かい寸法とか何とかとか、ただ単にそれを載せるだけじゃなくて、どういうものであるかっていうのが分かる。それからユーザーの評判がちゃんとプラスもマイナスも載っているとか。そういうことが非常に違うんですよ。

今の世の中、ますますインターネット経由で何か仕事するっていうのが多いと思うので、こういう田舎でもできるわけですよ。何も東京に出る必要ないんでね。

そういう点で、良いアドバイスなり何なりがされて、市内の業者がそれでしっかり仕事できれば嬉しいかなと思っているんです。

そういう点の何か調査、具体的にどうやるっていうのが、私今は提案できないんですけど、考えたらいいかなと思っています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

ほかにありませんか。

石川委員 一番最後の参考というところに、5番で市営住宅の整備ということなんですけど、今回コロナウイルスが発生するしないぐらいのときに、非常に問い合わせが多かったのは、消防隊員、救急隊員が何の告知もないために救急車を出してしまって、帰ってきてから、それが発病していることが分かって、その消防隊員が自宅待機ということになったんですが、自宅で待機ができなくて、車の中で何人かが一晩過ごしたということなので、そのときに市営住宅の確認をしたんですが、なかなかそれが明確でなかった。

市営住宅が空いているのであれば、それは今後、災害が恐らく発生してくるでしょうから、そのときに何かこう、宿泊施設をそのときに対応するんじゃないかと、市営住宅の確保っていうのが必要なんではないのかなと痛感したので、その辺もちょっと明確に調べていきたいなと思っています。

委員長 ほかにほかにありませんか。

ないですか、副委員長、何か調査事項で。

副委員長 今ちょっと石川委員がおっしゃったことなんですけど、それは例えば、その市営住宅があって、コロナ禍のこういうような状況になったときに、その保菌者をそこへ隔離するような施設に使えるかということなんですか。

石川委員 それも一つありますけど、発病が確認できない状態で、消防隊員が自宅待機という、うちへ行ってしまったら奥さんもいるし、子供たちもいる。こんな状況分からなかったか

ら、どうなるのか分からなくてうちに帰れなかった。車の中で何人かが一晩過ごしたということが実際あるので、それ以外でも、やはり避難場所は明確になっているんだけど、そこからの避難施設、宿泊施設はどうなんだっていうと、ホテル等々を借り上げるってのは今回ありましたけど、またそれも莫大な予算が発生する。市営住宅が空いているのであれば、明確にこの部分はこういう状況で使用するというようなことも必要ではないかなと。

副委員長 それは消防隊員が自宅に帰れないで車の中で寝ていたということなんですね。

石川委員 そうですね。

消防隊員だけに限らず、恐らくたくさんの方が不安でいたと思いますね。

はっきりしてからは隔離だとかいろいろっていうのがありましたけど、そのとき問い合わせたときには市役所のほうでは確保している部分が全くないということなので。

副委員長 はい、分かりました。

委員長 調査事項については何かないですか。

木野委員 委員長も思っていたと思うんですが、今、さっき花島委員も言っていましたけども、やっぱり下水道関係の、下水道審議会とかいろいろあるのが全然こちらの委員会に報告がないというので、やっぱりその辺明確に、今の段階で調査事項っていうよりも、市のほうの執行部のことですから、そういったのをもう一度聞く機会を設けてもらったら違うのかなっていう。

何か委員長の考えがありますよね。ちょっとその辺委員長から。

委員長 3月の定例会のほうで6月に下水道審議会を開いて、またこの6月定例会で下水道の見直しの素案あたりを説明できるかっていう話があったんですけども、部長のほうに確認したところ、まだ途中なんですということで、下水道審議会と合わせてこの委員会のほうでも説明を後日させていただきたいということで、それが7月になるか9月になるかっていうのはまだ明確ではないということで、委員会としても、途中でもいいから、9月まで待たなくてもいいから、委員会開催してもらっても構わないから説明のほうをお願いするというのは申し入れはしておきました。

福田委員 これは今までの経過からいくと、もうちょっと、やっぱりスピード感をもった対応をしてもらわなくちゃならないですね。ずっとそれで来てるわけだから。

それで、一番気になるのは、これは那珂市に限らずどこもそうなんでしょうけど、部長が2年ぐらいで異動しちゃうんですよ。その引き継ぎというのはあるんだろうと思うんだけど、それが全然、我々この常任委員会には目に見えてこない。その繰り返し。これがずっとそれで来ているんですよ。だから進展がないでしょ。

これ、今までの経過の中にもあるかな、これ平成28年、下水道の整備計画について。これからあまり代わり映えが全くない。それが現状なんですよ。

今回、委員長がおっしゃったように、今途中だよと、じゃあいつ頃までにできるのかなと、これもちょっと不透明なんでしょう。その辺に私は疑問を持っているんです。

だからやっぱりこれは常任委員会としても、やっぱり一つのラインを、区切りをつけて、そしてやっていかないと前に進まないような気がしますけどね。

委員長 そうですよ。

福田委員 これ資料見ても分かると思うんですよ。これはもう何年続いているんだろう。あまり言いたくないけど、本当にそういうところ。だから、この下水道ということが遅れる。そういうところに原因があるような気がします。

経費もかかる事業ですから、行政で一番お金かかるのはこの下水道です。事業の中で。

それは分かるんですが、あまりにも停滞し過ぎているということを強く、委員長、担当部署にお願いしたいなど、こういうふうに思います。

委員長 分かりました。ありがとうございます。

そうですね、委員会としてもずっと、先ほど福田委員から話もあったとおり、こう見ますと長年ずっと進展していないというところで、常任委員会としても区切りがつけられないという状況では確かにあるなど。

(複数の発言あり)

花島委員 進展がまるきりないわけじゃないですよ、そういうふうに見えるけど。

例えば、基本的に合併浄化槽を使っていくなんていう方向にかじ切ったので、あと、より具体的にどの地区をどういうふうにするんだとか、そういう細かいプランニングができてないことと、あとはやっぱり福田委員おっしゃったように、2年か3年で変わると、非常に重たいことなので、終らずに先に行っちゃうという可能性は大きいと思いますね。

というのは、先ほど福田委員がおっしゃったように、物すごいお金を使っている。それって言うことは、結局それを使って仕事をしている人もいるわけですよ。そういうこともあるし、あと市民は市民で、何だかんだ言ってもまだ下水道欲しい人もいるわけですね。だから、そういういろんな利害とか気持ちの中で、大きな計画を変えるというのはやはり大変なことなので、それは単に下水道課だけにお任せするんじゃなくて、我々がやっぱりプッシュするなり、あるいは考え方を、下水道課をつつづくだけじゃなくて、市民にも訴えていくと。私は政治家としてそういうふうになっているつもりなんです。だから、こういう話するときは、まず私の支持者たちに下水道はこうすべきなんだっていうことを話しながら、この委員会なり市に一般質問の中で言ってるんですよ。

多面的にやらなきゃならなくて、一つの仕事をころっと変えればいいっていうわけじゃないということですね。

ただ、意味をよく分かっていて、ばりばりやる人がいれば、周りが少々抵抗あっても進むんだろうと思いますけどね。それは思うんですけど、今日のテーマ、つまり調査事項ということに関しては、やっぱりしっかりやっていくことですかね、今後もね。

委員長 ありがとうございます。

福田委員 それと、審議会の優先順位っていうのがちょっと我々には理解できないんですよ。

優先順位というのは。

なぜかって言えば、今、戸多地区はやっているのかな。あそこの加入率、半分ですよ。半分ぐらい、半分行ってるかな、加入率が。

そういうところよりは、その地域に対しては恐縮なんですけど、もっと加入率の、しかも困っている、そういうところがほかにあるんじゃないですか。

だから、どういう優先順位っていうのは何を基本にやっているのかなっていうことが我々には伝わってこない。そういうことを我々は知りたいですね。だけどそういうことが公開されてない。

それと前にも言ったんですけど、もうちょっと、経費がかかるというのは分かるんですから、その経費をいかに少なくする意味でも、いわゆる本管が通っているでしょう、下水道の、そういう本管の近くから始まっていくというのも一つの選択だろうと思うんですよ。経費の面からいけばですよ。

ただ、それが優先順位に当てはまるのかっていうと、これはちょっといろいろ支障もあるだろうと思いますけれども、そういうことの優先順位よりは、やっぱり本当に困っている地域、いわゆる合併浄化槽が使えない、いわゆる浸透式、そういうところを最優先するべきだろうと思うんですけどね。

だから、そういうもろもろの優先順位というのが我々には伝わってこない。

それから、そういうことを果たしてこの審議会で議論をしているのかな。そういうことが知りたいですね。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

(複数の発言あり)

委員長 暫時休憩いたします。

休憩 (午前 10 時 35 分)

再開 (午前 10 時 45 分)

委員長 再開いたします。

審議会の件で、審議会は6月という話をしていたんですが、新型コロナウイルスの影響でということで先送りという形なんですけど、傍聴は可という話です。傍聴できると。

また、メンバーについては、まちづくり委員会から推薦がある方、各地区まちづくり委員会1名ずつで8名、一般公募が3名、学識経験者が7名、職員は部長2人で計20人で構成されているということです。

この審議会の日程も早くやっぱりこちらにも……

福田委員 新型コロナウイルスということもあるだろうけど、開催日が分かれば、委員会として傍聴してもいいですね。

口を挟むことはできないけど、傍聴はしてみたいですね。

今でも瓜連支所でやっているのかな。前は瓜連支所だったんです。

石川委員 これは年1回ですか。

事務局長 必要に応じてですね。諮問があれば審議会を開くと。

福田委員 次いつなのか分かったら、後でお願いします。

(複数の発言あり)

委員長 それでは調査事項についても含めて、いろいろと議論があったんですけども、やはり何かその下水道について多々意見がございましたので、下水道を軸に今回も、先ほど、傍聴に行こうと、斬新ではありますし、そういった面でまた、単独で議案の説明だけではなくて、下水道の説明を随時執行部のほうに申し入れていって、素案も含めてそういった単独の会議とかというのを開いていきたいなと思うんですけどもどうでしょうか、それで。御異議ございませんか。

花島委員 今までこの件でいろいろ話聞いてきて分かったんですけど、審議会って実務はほとんどやってないんですよ。だから、プランをつくるのがネックなんだと私は思うんですよ。

審議会はそれなりに見直しを認めているみたいです。

だから、問題はそこの具体的なプランニングをどういうふうに進めさせるかっていうところで、人手をつぎ込むとか、今の人手でやるならこっちの仕事を少し置いてでもこっちをやれというぐらいの話をしないといけないんだと思いますね。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

ちょっとコロナ禍というところで外に行けない分、内側というか、大きく見つめ直せる時期でもございますので、下水道も含めて、その他調査事項というのは閉会中はいろいろとありますから、市内の中身をちょっと確認していくという意味でもいいのかなと思いますので、ぜひ御協力をお願いいたします。

それでは、調査事項はそういった件で進めさせていただきたいと思います。

細かいところは正副委員長と事務局のほうで調整を進めていきますので、準備が整いましたら再度会議を開きたいと思います。

それでは、本日の議題は全部終了いたしました。

以上で産業建設常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

閉会（午前10時50分）

令和2年 7月 29日

那珂市議会 産業建設常任委員会委員長 大和田 和男